

# 第5回アーバンデザインスクール

## 『これからのUDCBKについて』

平成29年3月11日

1

# UDCBK

アーバンデザインセンターびわこ・くさつ事業

# アーバンデザインスクールの進め方

- ▶ 10:00 アーバンデザインスクールについて  
溝内 辰夫 (アーバンデザインセンターびわこ・くさつ シニア・ディレクター)
  
- ▶ 10:10 「これからのUDCBKについて」  
UDCBKセンター長 及川 清昭 立命館大学工学部教授  
立命館キャンパス計画室長
  
- ▶ 11:10 セッション
  - ▶ 質疑応答
  - ▶ ディスカッション
  
- ▶ 11:45 修了証授与式
  
- ▶ 11:55 アンケート記入等

# UDCBK って なに？

産学公民が  
連携して

<b>U</b>	Urban	アーバン	未来の都市の
<b>D</b>	Design	デザイン	デザインを考えるための
<b>C</b>	Center	センター	人や情報が集まる場所
<b>B</b>	Iiwako	びわこ	びわこがある
<b>K</b>	Kusatsu	くさつ	草津のまち

# UDCBK的産学公民連携とは？

草津のみらいをよくしたいという  
志（こころざし）を持つ民（たみ）

UDCBK

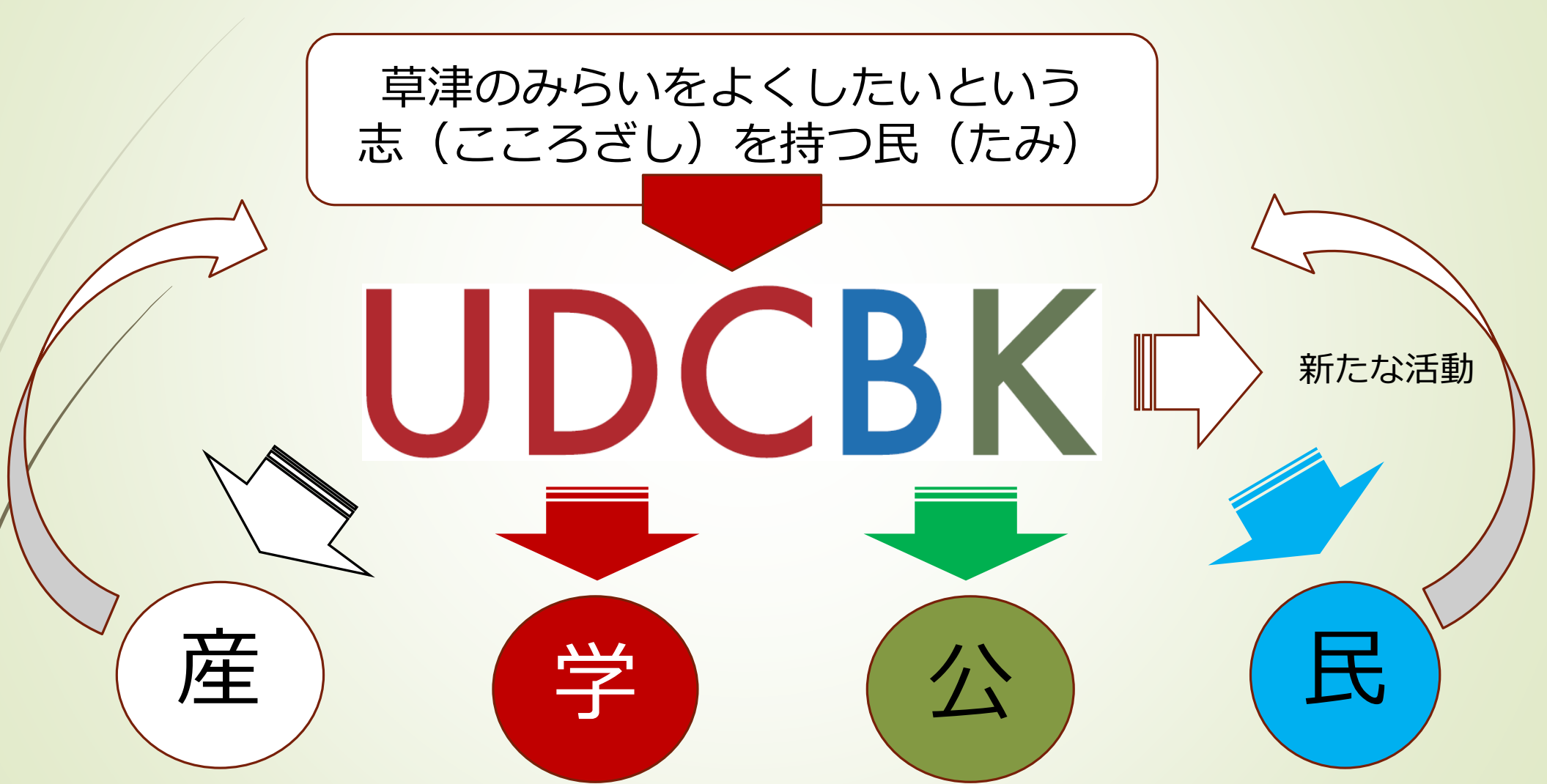
新たな活動

産

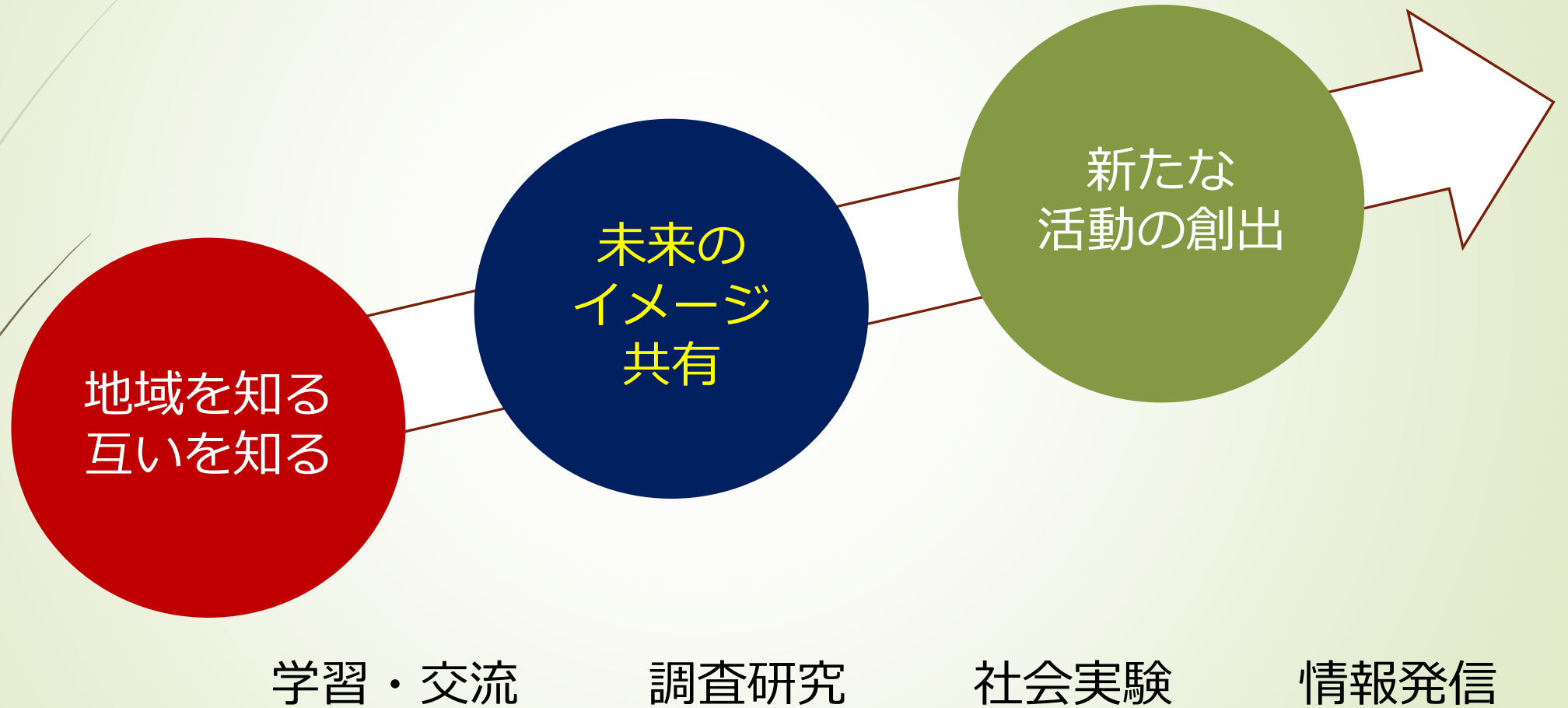
学

公

民



## 3つのコンセプトと4つの機能



# アイデアが湧き出る場づくり

普段出会わない人や知識との  
偶然の出会い



学習・交流

新たな解釈 1

新たな解釈 2

新たな解釈 3

サードプレイス  
(居心地のいい場所)

新たな疑問 1

新たな疑問 2

新たな疑問 3

調査研究 1

調査研究 2

調査研究 3

人や情報

情報発信

社会実験 1

社会実験 2

社会実験 3

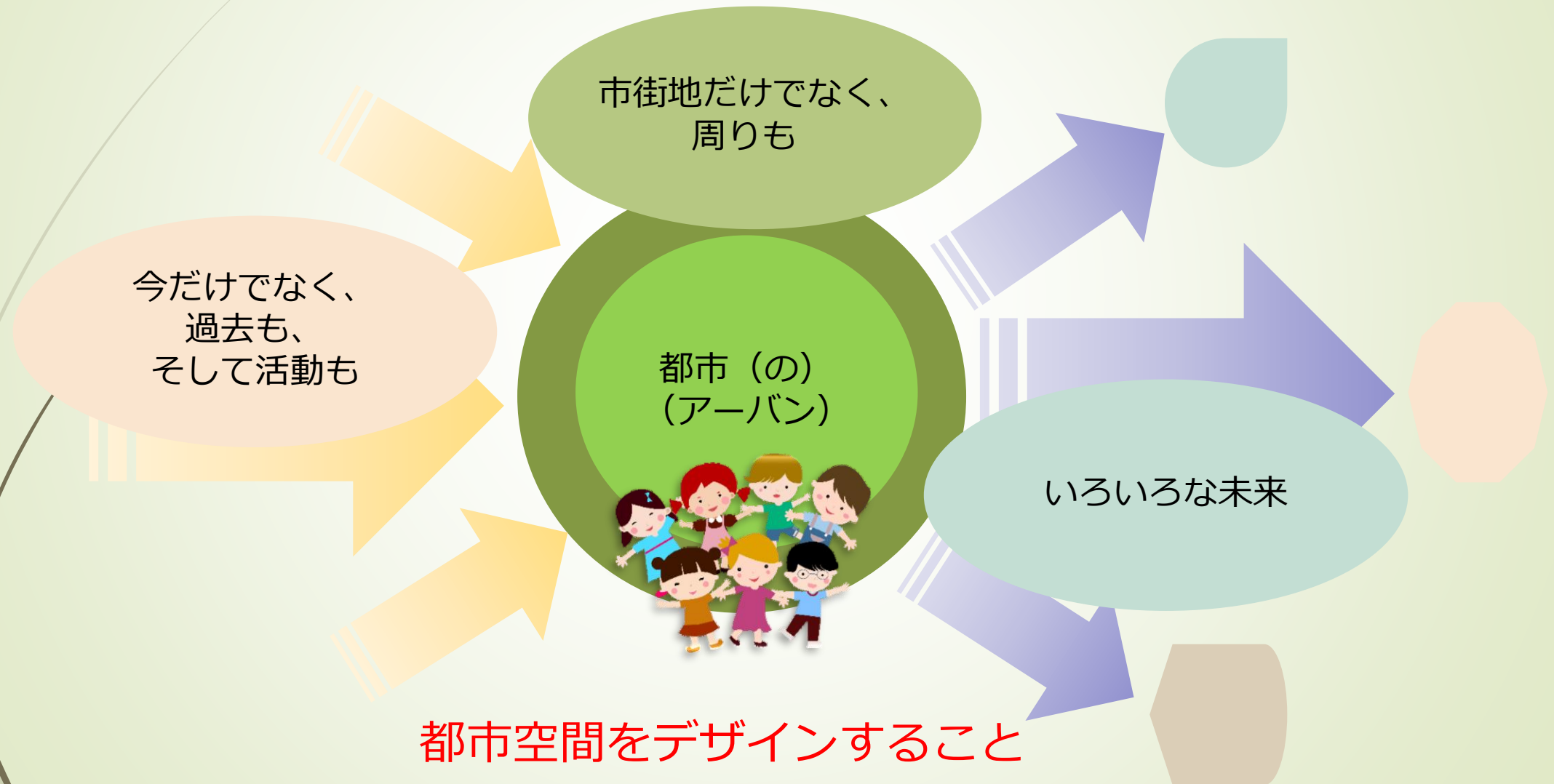
解決案 1

解決案 2

解決案 3

\* 実際は「交流⇒学習⇒調査研究⇒  
社会実験」と順番に進むのではない

# アーバンデザインとは？



# アーバンデザインはトランス・サイエンス

- ➡ 科学に問うことはできるが、科学のみでは答えが出せない問題群



アムステルダム



グアナファト



# アーバンデザインを生み出す条件

- その街に少しでも興味関心がある人であれば誰でもが気軽に自由に話し合える場所があること
  - 地域の政策や課題について学習したい人、または自分の考えを伝えたい人が容易に出会い、学習する場所があること
  - その街で生活を営んでいる住民が、街に愛着を持ち、共同体に属して生活していると実感できるさまざまな活動があること
- アーバンデザインを考えて、都市計画を行うことができる専門家がいること
- 専門家と市民を繋ぐ媒介の専門家と地域の専門家がいること

# アーバデザインスクール開催の目的

- ▶ アーバンデザインセンターびわこ・くさつ（UDCBK）の企画や運営に積極的に関わり、専門家と市民の間を繋ぐ媒介の機能を担う専門家を育成する。
- ▶ 今年度はUDCBK開設初年度であることから、「アーバンデザインセンターを知る」をテーマとする。

	第1回	第2回	第3回	第4回	第5回
テーマ	アーバンデザインセンターとは？	松山アーバンデザインセンターの運営について	UDCBKのコンセプトができるまで	草津・南草津の特性と湖南エリアの商業集積について	これらかのUDCBKについて
専門家	信時 正人氏 (立命館大学デザイン科学研究センター客員研究員)	松本 啓治氏 (愛媛大学防災情報研究センターアーバンデザイン研究部門教授)	溝内 辰夫 (UDCBKシニア・ディレクター)	大橋 康男 (草津市都市計画部まちなか再生課)	及川 清昭氏 (UDCBKセンター長、立命館大学理工学部教授)
コーディネーター	肥塚 浩 (草津未来研究所顧問、立命館大学教授)				
開催日時	平成28年11月12日 10:00～12:00	平成28年12月10日 10:00～12:00	平成29年1月14日 10:00～12:00	平成29年2月18日 10:00～12:00	平成29年3月11日 10:00～12:00
場所	市民交流プラザ中会議室 (南草津駅前)				

# 過去のまとめ

## アーバンデザインセンターとは？

- 地域の歴史、文化、芸術を踏まえた都市づくり、産業づくりが必要
- 草野球チーム等テーマ・コミュニティ等の活動から、地域の埋もれた人材資源（ヒューマンキャピタル）と出会う。
- それぞれの地域の固有性を踏まえたUDCを創ること

## 松山アーバンデザインセンターの運営について

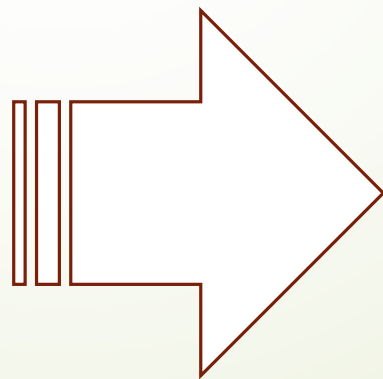
- 旧市街地の再開発は活動創出から
- 大学生の活動拠点として、いきなり否定せず、進める方向で検討（失敗から学ぶ）
- 様々な活動に挑戦し、活動から景観や都市デザインを考える

## UDCBKのコンセプトができるまで

- 草津市には社会関係資本、文化資本を育てる拠点が必要
- 子育て世代、学生、外国にルーツを持つ人、通勤者、高齢者など地域の潜在能力を活かす場づくり
- 未来の選択肢を増やす活動の創出

## 草津・南草津の特性と湖南エリアの商業集積について

- 南草津は生活圏であり、外から人を呼ぶ商業圏ではない。
- 駅前には地域のランドマークとなる（商業）施設がない。
- 南草津駅はコンセプトが見えない



## これらかのUDCBKについて

多様な意見や活動を踏まえてアーバンデザインとして纏めていくための専門家の役割や手法について。

# これからの **UDCBK** について



アーバンデザインセンターびわこ・くさつ

及川 清昭 センター長

立命館大学理工学部教授  
立命館キャンパス計画室長

# 修了証授与

- ▶ 対象の方

- ▶ 5回のうち、3回以上出席された方